

令和3年度保育人材確保に係る学生等への就職・キャリア形成支援相談事業 業務委託募集要領

京都府健康福祉部 こども・青少年総合対策室

1 事業の趣旨・目的

保育士の有効求人倍率は高く、安定した人材確保と離職防止は喫緊の課題になっている。京都府が行う保育士・保育所マッチング支援事業（※参考資料参照）と連携し、キャリア形成の専門的知識を持つキャリアコンサルタントが、保育の求人情報の収集と求職者への積極的な働きかけを行い、丁寧なマッチングを行うことで、保育人材の安定的確保及び離職防止に向けた定着支援を行う。

2 業務概要

- (1) 業務名 令和3年度保育人材確保に係る学生等への就職・キャリア形成支援相談事業業務委託
- (2) 業務内容 別紙「令和3年度保育人材確保に係る学生等への就職・キャリア形成支援相談事業業務委託仕様書」のとおり
- (3) 契約期間 令和3年4月中旬から令和4年3月31日
※令和3年度京都府当初予算が京都府議会において議決されない場合は、当該事業は廃案とし委託契約を締結しませんのでご注意ください。
- (4) 委託上限額 5,988,180円（消費税及び地方消費税を含む。）

3 参加資格

企画提案に参加する者は、次に掲げる要件をすべて満たしていること。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しないこと。
- (2) 民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てをした者にあつては更生計画の認可がなされていない者、会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく再生手続開始の申立てをした者にあつては再生計画の認可がなされていない者でないこと。
- (3) 京都府税、消費税又は地方消費税の滞納をしている者でないこと。
- (4) 企画提案募集に係る公告の日から企画提案の特定の日までの期間に、京都府の指名競争入札において指名停止措置を受けていないこと。
- (5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）に該当しないほか、次に掲げる者に該当しないこと。
 - ア 法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）
 - イ 法人の役員若しくはその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者が暴力団員である者又は暴力団員がその経営に関与している者

- ウ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団の利用等をしている者
 - エ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等、直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
 - オ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - カ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用している者
 - キ 暴力団及びアからカまでに定める者の依頼を受けて企画提案に参加しようとする者
- (6) 公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある団体又は公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある団体に属する者に該当しないこと。

4 参加手続

- (1) 担当部署及び問い合わせ先

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府健康福祉部こども・青少年総合対策室 保育・子育て支援係
電話：075-414-4581 FAX：075-414-4586
電子メールアドレス：kodomopref.kyoto.lg.jp

- (2) 募集要領等の配布

ア 配布期間：令和3年2月17日から3月19日まで
(土曜日、日曜日及び祝日を除く。午前9時から午後5時まで)

イ 配布場所

上記(1)の担当部署で配布するほか、京都府公募型プロポーザル案件情報ホームページ (<http://www.pref.kyoto.jp/kosodate/hoikushi/kyarikon.html>) からダウンロードできる。

- (3) 応募書類の提出期限、提出場所及び提出方法

ア 提出期限：令和3年3月19日

※提出期限後に到着した応募書類は無効とする。

イ 提出場所：(1)に同じ。

ウ 提出方法：持参(平日の午前9時から午後5時まで)又は郵送(書留郵便に限る。)

5 事前説明会

(1) 開催日時：令和3年2月26日午前10時から11時まで

(2) 開催方法：web会議システム(zoomミーティング)を用いて実施。

(3) 申込方法：事前説明会に参加を希望する者は、令和3年2月25日午後5時までに参加申込書(様式任意：会社名、連絡先、出席者名)を作成し、4(1)に提出すること。(FAX、電子メール可。ただし着信確認の電話連絡を行うこと。)

6 質疑・回答

この募集要領の内容に疑義等がある場合は、次のとおり受け付ける。

(1) 受付期間：公募開始日から令和3年3月5日午後5時必着

(2) 質疑方法：持参のほか、郵送、FAX又は電子メールにより、4(1)に提出すること。

(3) 質疑様式等：様式は自由とするが、次の点に留意して記載すること。

- ア 件名は「令和3年度保育人材確保に係る学生等への就職・キャリア形成支援相談事業業務委託に関する質問」とすること。
 - イ 質問者の会社名、部署名、役職・氏名、電話番号、FAX番号及び電子メールアドレスを記載すること。
 - ウ 質問内容を端的に表す表題を本文に記載すること。
- (4) 回答日時：令和3年3月10日
- (5) 回答方法：質問への回答は、京都府公募型プロポーザル案件情報ホームページ (<http://www.pref.kyoto.jp/kosodate/hoikushi/kyarikon.html>) に掲示し、個別には回答しない。

7 応募書類

(1) 提出書類

別紙「提出書類一覧」を参照すること。

- ア 参加表明書（別添1号様式）
- イ 企画提案書（価格提案書（見積書）を含む。） **10部**
- ウ 実績調書（別添2号様式）
- エ 府税納税証明書（別添3号様式）
- オ 消費税及び地方消費税納税証明書
- カ 営業（事業）経歴書（別添4号様式）
- キ 商業登記事項証明書
 - ※エ及びオ並びにキについては、発行日から3ヶ月以内のもの。コピー可。
- ク 会社概要

(2) 企画提案書の作成方法

企画提案仕様書のとおり。

(3) 提出された応募書類の取扱い

- ア 提出された企画提案書は、本プロポーザルにおける契約の相手方の候補者の選定以外の目的では使用しない。ただし、公文書公開請求があった場合は、京都府情報公開条例に基づき取り扱うこととする。
- イ 提出のあった企画提案書は、選考を行う作業に必要な範囲において、複製を行うことがある。
- ウ 提出された応募書類は返却しない。
- エ 企画提案書等の著作権は、提案者に帰属する。
- オ 企画提案書等に含まれる著作権、特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用した結果、生じた責任は提案者が負う。

8 評価方法等

(1) 評価基準

別紙「評価基準」のとおり。

(2) プレゼンテーション及びヒアリングの実施

- ア 開催日時：令和3年3月24日 午後2時から
- イ 開催方法：web会議システム（zoomミーティング）を用いて実施。

ウ 評価方法

応募事業者1者につき15分程度プレゼンテーションを行い、その後、外部有識者から10分程度の質疑応答時間を設ける。企画提案書(価格提案書(見積書)を含む。)、プレゼンテーション及びヒアリングについて、評価基準に基づき、外部有識者の意見(採点等)を聴取した上で評価し、候補者を1者選定する。なお、プレゼンテーションの様式は任意。

(3) 候補者の選定方法

ア 失格者を除いた者のうち、(2)ウの総合点が最も高い者を契約の相手方の候補者として選定する。

イ 最高点の者が複数の場合は、価格提案書(見積書)の金額が最も安価な者を契約の相手方の候補者として選定する。なお、金額も同額の場合については、当該者は、当初提案の金額の範囲内で価格提案書(見積書)を再作成し、再提出された価格提案書(見積書)の金額が最も安価な者を契約の相手方の候補者として選定する。

ウ ア、イに関わらず、総合点が60点未満の場合は、候補者として選定しない。

(4) その他

次に掲げる事項に該当する者は、失格とする。

ア 提出した書類に虚偽の内容を記載した場合

イ 本募集要領に示した企画提案書等の作成及び提出に関する条件に違反した場合

ウ 価格提案書(見積書)の金額が2(4)の委託上限額を超える場合

エ 評価の公平性に影響を与える行為があった場合

オ 評価に係る外部有識者に対して、直接、間接を問わず故意に接触を求めた場合

カ その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行った場合

9 選定結果の通知・公表

候補者選定後、参加者全員に選定又は非選定の結果を通知する。また、選定結果通知日の翌営業日に、京都府公募型プロポーザル案件情報ホームページにおいて、次の事項を公表するとともに、担当室において閲覧に供するものとする。

【公表事項】

(1) 候補者の名称、総合点及び選定理由

(2) (1)以外の参加者の名称及び総合点

※(1)以外の参加者の名称は五十音順、総合点は点数順で表記する。

参加者が2者の場合、次点者の得点は公表しない。

(3) 外部有識者の所属、役職名及び氏名

10 契約手続

(1) 契約交渉の相手方に選定された者と京都府との間で、委託内容、経費等について再度調整を行った上で協議が調った場合、委託契約を締結する。

(2) 受託者は、契約金額の100分の10の額の契約保証金を契約と同時に納付しなければならない。ただし、京都府会計規則第159条第2項各号のいずれかに該当する場合は契約保証金を免除する。

(3) 契約代金の支払いについては、精算払い(契約先の財政状況により、人件費相当分の範囲

内で前金払とすることがある。)とする。

- (4) 選定された候補者が、特別な事情等により契約を締結しない場合は、その理由を記載した辞退届を提出すること。なお、この場合、次順位者を候補者とする。

11 その他

- (1) 参加表明書の提出後に辞退する場合は、書面（5号様式）により届け出るものとする。
- (2) 企画提案書（価格提案書（見積書）を含む。）については、1者につき1提案に限る。
- (3) 参加表明書を提出した後、企画提案書（価格提案書（見積書）を含む。）の差替、訂正、再提出することはできない。ただし、京都府から指示があった場合は除く。
- (4) 参加表明書を提出した後、京都府が必要と認める場合は、追加書類の提出を求めることがある。
- (5) 提出書類の作成、提出、プレゼンテーション及びヒアリング等に要する経費は、提案者の負担とする。
- (6) 書類等の作成に用いる言語、通貨及び単位は、日本語、日本円、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に定める単位とする。
- (7) 参加者が1者の場合は、本プロポーザルを中止することがある。
- (8) 本事業の委託契約について、京都府の令和3年度予算が成立しない場合は、本業務提案募集に係る手続はなかったものとする。その場合、提案者が応募に要した経費及び提案者が被る損害については、京都府は一切賠償しない。